

令和5年度第4回総合交流施設建設を更に推進する会 議事録

日時：令和5年5月18日（木）19：00～

場所：役場2階会議室

1 開 会

2 議 事

- (1) プロジェクトチーム発足について
- (2) 知名町との協議について
- (3) 総合交流施設イメージ図作成について（進捗状況）
- (4) 建設候補地について再確認（想定問答等）
- (5) その他

○事務局

皆様、こんばんは。予定していた時間になりましたので、第4回「和泊町総合交流施設建設を更に推進する会」を始めさせていただきます。

早速ですが、古村会長のあいさつからお願いします。

○会長

皆さん、こんばんは。今日は雨の中、お集まりいただき、ありがとうございます。月一で、この会を開催しているんですけども、どんどん進んでいけるようにして、回数を重ねていこうと思いますので、会議の充実に御協力をお願いします。

○事務局

ありがとうございます。

先日、開催案内を出しましたが、会長との協議の結果、協議の内容を精査しまして今日お配りしている新しい資料で、協議を進めていきたいと思いますので、差し替えをお願いします。

あと、一緒に前回の会の議事録を配布しておりますので、のちほど、お目通しください。

本協議会は設置要綱第6条第2項で、「会議は委員の過半数が出席しなければ開くことができない」となっております。定員数10名のうち、1人遅れておりますが、7名が参加、3名委任状ですので、会議が成立することをお伝えします。

それでは、設置要綱第6条第1項に、「会長が会議の議長となる」となっておりますので、古村会長に議事進行をお願いしたいと思います。

○会長

では、協議の1番から進めていきたいと思います。

プロジェクトチームの発足についてということですが、会を進める中で皆さんも感じていると思いますが、規模だったり場所だったり、建てるうえで、各分野から思いだったり、アイデアだったりを出していただいているんですけども、イメージがなかなか湧いてこないのが実状だなあと感じているところです。

総合体育館に関しては、教育委員会の管轄ですけども、町全体のプロジェクトであるということで、教育委員会だけでなく、総務課、企画課、建築にあたり土木課、あと経済課の人材に関わってもらって、その中で進めていけたらなと思っております。

この総合交流施設の建設にあたり、プロジェクトチームを和泊町の課を超えたメンバーで募って、次の回会合までに会を設ける話を事務局とさせていただきました。

そうすることによって、空論で話をしていたものが、専門家の意見を基に、資料を見ながら議論出来ていくようにしていきたいなと考えております。

会としては、プロジェクトチームと推進する会と2つになります。プロジェクトチームで議論した内容を資料として挙げてもらって、推進する会で精査していくような形で任期いっぱい進めていけたら良いと考えているところです。

プロジェクトチームの案をもって、5月8日に知名町生涯学習課の課長と担当に話をしてきました。

島に1つの施設があれば良いというところで、出来上がれば知名町も積極的に使ってもらってところで、協力していただけるってことになりました。

町長同志もその辺の案は詰めていただいているということを聞いております。

なので、郡体とか大会を運営されている知名町の職員も5名程度、プロジェクトチームに参画していただいて、知名町も使い勝手が良いように、そして知名の方が野球場とかの大型施設を建設計画が上がった時には、和泊町からも（プロジェクトチームに）入れてもらって、島全体で、計画を進めていけるような、体制を作っていきたいと思います。約束を頂きましたので、このプロジェクトチームに知名町のメンバーも入れて、進めていくことになると思います。

これが、前回から今回にかけて、こうしようと話し合ったことですが、このことについて、皆さんからご意見は無いでしょうか。

良い案と思っているんですが・・・。

いろんな競技団体があるんですけども、各競技団体で前向きな意見を出していけるようなメンバーを選出してくださいとお願いしてきたところです。

では、このことについては、よろしくお願いします。

3 番のイメージ図について、候補地は校舎の東側と言うことで、決まりましたが、なかなかイメージがわからないということで、イメージ図と平面図の作成してもらって、議論していければと事務局にお願いしましたが、その辺のタイムスケジュール的なものの説明をお願いします。

○事務局

協議の 2 番で話しました知名町との協議のことを町長に報告した際に、このイメージ図の話もしました。

イメージ図作成に 30 万弱掛かりますが、予算でこの経費を見てなかったもので、地質調査の予算を使って作成することの許可を頂きました。

地質調査においては、1 月に積算した予算ですので価格高騰もあり当然、現在の予算額では足りなくなるので、場所が確定して地質調査に入る時、9 月補正になるのか 12 月補正になるのか判りませんが、補正予算を挙げるときにイメージ図の委託料も一緒に計上することで同意を貰いましたので早速、業者と打ち合わせをしたところでした。

建てるうえで、1 つの段差は大丈夫ですけど、複数の段差は、柱にかかる圧が変わってくるので、良くないとのことでしたので、下の段差は整地をして下を平面にする必要があるとのことでした。

あと、床面積が同じであれば、上に増築するのは、横に広げていくのと比べるとそんなに工事費が上がることはないとのことでした。

駐車場についても、足りないかもしれないとのことで、校舎前の芝生のところも使えば駐車台数を確保できるとのことでした。

基本的には、バレーコート 3 面とサブコート 1 面で、構成しますがシャワー室や会議室等の施設においては、配置を変える必要があるとのことでした。

出来上がるまで、2 か月は掛かるとのことなので、7 月後半まで掛かると思います。配置の検証したのち、平面図を提出頂けるとのことなので、その資料を元にまた協議できると思われます。

(委員が 10 分遅れて参加)

○会長

ありがとうございます。

遅れてきた方に、今までの話をお伝えしますが、担当課を超えた各課の代表を集めたプロジェクトチームを作るようお願いしたところでした。

そこで、先日知名町の生涯学習課に行って、体育館建設について、共有してきまして、そ

の中で、プロジェクトチームに知名町からも数名入ってくださいとお願いをしてきました。そのプロジェクトチームから挙がってきた案を推進する会で精査することになると思います。

今、事務局が話してたのは、イメージ図を7月いっぱいまでを目途に作成をお願いしたという話でした。

○委員 地質調査はしたの？

○事務局

まだです。校舎右側にこういった形で出来上がるのかのイメージがわからないとのことだったので、そこにどんな形で入るのか、図面を描いてもらうことになりました。

○委員 図面描いても地質調査でダメだったら、また元に戻る。

○会長

場所はここで良いのか、再度確認するうえで、正式な図面ではなく、イメージ図です。

○委員 地質調査をしてからで良くないか。

○会長

地質調査をしてしまうと、完全にそこに決まってしまって、どんな形になるのかもわからないまま、進んでしまうのは良くない。

○委員 二か所の図面は出来ないのか。

○事務局

予算が足りません。補正を組まないといけなくなります。

まず、イメージ図を持って町長の許可を貰って、議会に説明をしてから地質調査になります。

○会長

第1候補地として進めていく中でイメージをもって、進めていかないといけなくて予算も限りがあるので、まずはこの第1候補地の地質調査に向けて協議していきましょう。

もちろん、第1候補がだめだった場合は第2候補地を検討していかないといけないと思いますが、前回までの話では芝のグラウンドはサッカーで使うことが多いってことと町民グラ

ンドとしての機能を残すことが将来的に良いつてことでした。

○委員

例えば、校舎右側を地質調査してダメだった時に、そのままグラウンドも調査することは可能ですか。第1候補がダメだって次の調査が出来ないとなると、また遅れる。

○事務局

業者もやみくもに地質調査できないので場所を決めてその場所の4角と真ん中とを調査するので、ここやって次は出来ないと思います。

○委員

そこで、ダメだった時のことも想定して予算を確保しないと建設が遅れるだけです。それぐらい想定しておかないといけないと思う。

○事務局

そうなってくると予算を倍組まないといけなくなります。2千万ぐらいになりますよ。予算を確保するには、根拠が必要なので、想定での予算確保は難しいと思います。

場所はほぼ決まっておりますが、イメージ図や平面図を見て、これなら良いねってなったら町長に報告してOKサインを貰えたら議会にも説明してから、地質調査になりますので、もしダメだった場合は、また議会にも説明して別のところの地質調査の予算を組む必要があります。

○委員 当初の図面とは変わってくることもありますよね。

○事務局

あれはあくまでも、平面にした場合で、町民説明会で説明しやすいように作成されたものですから、平地に建てた場合で、今回のようにちょっと起伏があって狭いところですから、あの時の図面のようにはならないと思います。

本当は、体育館の周りに駐車場があってグラウンドがあってっていうのが理想的ではあるんですけど、今の場所では厳しいと思います。

しかし、案を作っとけば、進めやすいと思います。

○会長

フロアにしてもそうですけど、事務室や多目的室など、イメージ図を見ながら議論出来るんじゃないかなと思います。

まずはプロジェクトチームの発足と会の方を進めてもらって、力を貰いながら進めていけたらと思います。

○委員 知名のプロジェクトチームはどういったメンバーなんですか。

○会長

基本は競技している人がベースです。積算だったり、建築の部分は、和泊の役場の人達で考えてもらう形になると思います。

知名の体育館の老朽化の件もあるので、和泊町の施設が出来たら、一緒に使えるように、こういった施設が良いというようなことを一緒に考えていけたら良いと考えてお願いしてきました。

○事務局

今、他の市町村の体育施設を調べておりますが、原材料が高騰してきている中でこういった施設を造っているのか、見てみましたら熊本県にあります菊陽町でバレーコート4面でサブアリーナ1面の体育館があります。

当時で43億で、面積8763㎡。和泊が計画しているものより全然大きな施設です。あと、阿蘇の方に山都町がありますけども、人口が13,000人のところです。

その体育館が4,491㎡です。そこは、バレーコート9人制2面です。サブアリーナは、ないですが、多目的ホールがありまして、兼用で武道場がありまして、トレーニング室や観覧席、更衣室、トイレがありますが、建設費はネットに挙がっておりませんでした。

そこは、社会資本整備総合交付金という土木にある事業ですが、阿蘇なので、地震がありましたから防災関係の事業で国から補助金が下りてるようです。

あと、阿蘇なので、森林で木がいっぱいあります。森林環境贈与税が入ってきます。設計で約7,200万なので、建築費用はそこそこの額になると思われますが、木造です。

それは、本土の施設なので、離島で探してみますと宮古島にありました。沖縄なのであまり比較できませんが、新聞に載っておりました。伊江島にも村ですができております。

原材料が高騰する中で、どいった施設がどいった経緯でどいった補助金を使って建築してるのか機会があれば見てもらえたら参考になると思います。

もし、現地の施設を見に行くときには、こちらから打診は致します。

○会長

国交省の沖田君とも連絡を取ってもらって、有利な補助金の情報を教えておらえたら、良いですね。

○事務局

校舎東側のメリットとしましては、グラウンドが有効に使えるってことで、今後 50 年先を考えたらスポーツエリアとして整備しやすいことがメリットで、デメリットとしては、段差があって、幅が狭いことで当初の計画のように四角形で造れない、形を変えての建築になることで、建築費が増えることがデメリットですよね。

他にデメリットはありますか。

○委員

駐車場が狭いこと。通学路にもなっているので、駐車場へのアクセス方法を考えないといけないですよね。

○委員 もし足りない場合は、畑を借りるしかないですよね。

○委員 道路向かいであれば、道路を渡るから危ないですよね。

○事務局

駐車場が道路向かいに造った場合は、警察に行って横断歩道の場所を移動させる必要も出てくると思います。

○会長

その辺の建築費の単価自体も埋める、つぶす事態にも料金が掛かってくることなので、そういったものの積算を出してもらいながら議論していかないといけないところではありますよね。

○事務局

この建設だけを見越した考え方ではなくて、将来を見越した話を推進する会で話をしますと説明していく必要があると思います。

○会長

ただ、総合グラウンドの話は、まだ計画もされてないので、それ有りきでいくと話がこじれていくので、そこはまだ伏せてた方が良いでしょうと思います。

○委員 総合交流施設の会ですから、グラウンドを考えたらダメですよ。

○会長 そう、そこにずらしてしまうと突っ込まれるだけだと思うので。

○事務局

グラウンドの話は、教育委員会の管轄ではあるんですが、総合振興計画を作る際に提案をしていって、総合交流施設を造るにあたって、繋がりはあるんですが、その中の一画として考えることは必要かもしれませんが、今は総合交流施設を推進する会なので、グラウンドの話を出してしまうと「それは違うじゃないか」と言われかねないので、将来の総合グラウンドも考えつつの体育館建設を進めていけたらと思います。

個人的には、場所が決まり地質調査に動き出したら、あとは建てた後の運営的なことも話しできるような会になればと思っています。

当然、設計とかなると、業者とかに入ってもら必要があります。和泊町は、こういった場所にこういった建物を建てたいという構想を業者に提示していろんな業者が、それならこういった建物はどうか、みたいな感じで案、アイディアを出してもらって、それを評価して業者を決めていく方式があります。

○委員

今、体育館の話ですが、図書館も老朽化しているので、体育館に図書館の機能も入れたら、体育館を使わない人たちも本を目当てに立ち寄るようになると思うので、やっぱり、運動しない人たちも利用できるように取り込んでいかないとこれだけの建物を建てるにあたって、町民全体を説得できないと思います。

ほんとステーションとかも古くて狭い施設で活動しているので、いろんな施設をまとめていけば、有効活用もできるし、子育て中のお母さんたちも利用できるし、人が集まるような施設になると思います。

○会長

そういう意味でもプロジェクトチームを作って、今あった図書館とかの構想もあるはずなんで、それをすり合わせしないといけない部分もあるだろうし、今の規模はシンプルに良いものだと思うんですよ。

それありきで造ってしまうんじゃなくて、シンプルな空間にして使う人が活かせるようにして造っていけば、管理する人が、運営しやすいようにシンプルにすることが大事なのかなと思います。

○事務局

お年寄りや地域の方々や障害者が、こういうスペースがあれば、運動できなくても来やすくなるようなコンセプトしていく必要があると思います。

観光施設ではないですが、タラソとも連携しながら観光の拠点にもなればなと思います。

○会長 議案の4番の想定問答は、今みたいな形で良いですかね。

○委員

知名町との話も前向きに出来てて、良いと思います。図書館の話もメチャクチャ良いです。運動しない人たちを来させるための施策としてとてもいいと思いました。

○委員

どんな感じになるのかイメージが付きにくかったんですが、イメージ図が作成されるってことで、それを見て、更に議論出来たら良いと思う。

図書館の案はとてもいいと思います。運動する人だけじゃなくて、いろんな人が多目的施設として利用できるようになれば良いと思う。

アリーナってなるとスポーツをしない人からすれば「要らない」ってなると思うんですけど、施設名をどういう風にするかとかも結構重要だと思います。

○委員

柔剣道場も古いし、狭いですし、あそこって、ガラス張りになっているので、ダンスをしたい人たちが良く利用しているんですが、学校でもダンスが必修になってきたりしているので、新しい施設にもガラスを張ってほしいです。

子どもたちが思いっきり走り回って、もっとスポーツしてほしいので、そういった施設になってほしいと思います。

○委員

前回、お休みしてしまったんですが、候補地がほぼ決まったってことで、和泊町の間で、いろんなところから利用しやすいところなのかなと思っております。

現実も見据えながら、いろんな角度で、協議できているので、次の会でもまた、いろいろな意見を交わせたらなと思います。

○会長 次回の日取りを確認しましょう。

○事務局

6月13日から議会が始まりますので、その週は出来ないの、翌週19日の週はどうでしょう。

議会で総合交流施設について質問があると思いますが、そこでの答弁を基に、今後こう動きましょう、こういったことを議論しましょうとなると思います。

○会長 21 日水曜日に同じ時間をお願いします。閉会の挨拶をお願いします。

○委員

お疲れさまでした。少しずつではありますが、良い形が出来つつあるのかなと思います。

7 月いっぱいで図面が出来るってことで、すごく楽しみです。

皆さんも大変お忙しいかもしれませんが、全員そろって、協議出来たら良いと思います。
次回もよろしくお願いします。

今日はお疲れ様でした。

3 閉 会

— 以 上 —